
砂漠の花

夢来

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

砂漠の花

【Nコード】

N0269W

【作者名】

夢来

【あらすじ】

カラカラに乾いた世界にいました。

日はジリジリと照り付け、辺り一面見渡す限りの砂丘です。

カラカラに乾いた世界にいました。

日はジリジリと照り付け、辺り一面見渡す限りの砂丘です。

わたしはそんな場所を歩いていました。

歩いて、歩いて、もう喉はその砂漠よりもカラカラに渴いていました。

ふと、前方に小さな何かが見えました。近付いて見てみれば、それは一輪の花です。

わたしは目を大きく見開いてその花を凝視すると、すぐにスコップで掘り返しました。

掘って、掘って、力を振り絞って掘るのです。花はすでに砂に埋もれて見えなくなりました。

やがて、わたしは掘当てました。水です。

花の下を掘ったら水が出てきました。よかった。

その水に口をつけようとしたら、前方から見知らぬ人がやって来ました。その人はわたしの目の前で剣を振り被ります。

——ああ、わたしは砂漠の花と同じ運命を辿るんだな。

そう思ったところで、目が覚めました。

わたしは今日も学校に行きます。顔を洗い、歯を磨き、紅茶を飲んで、トイレに行つて。

顔や手を洗う時、水は流しっぱなしです。紅茶はポットで入れるけど、飲みきれないから残します。学校にいる時、トイレは2回流します。

——何てことのない、日常です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0269w/>

砂漠の花

2011年10月8日10時30分発行